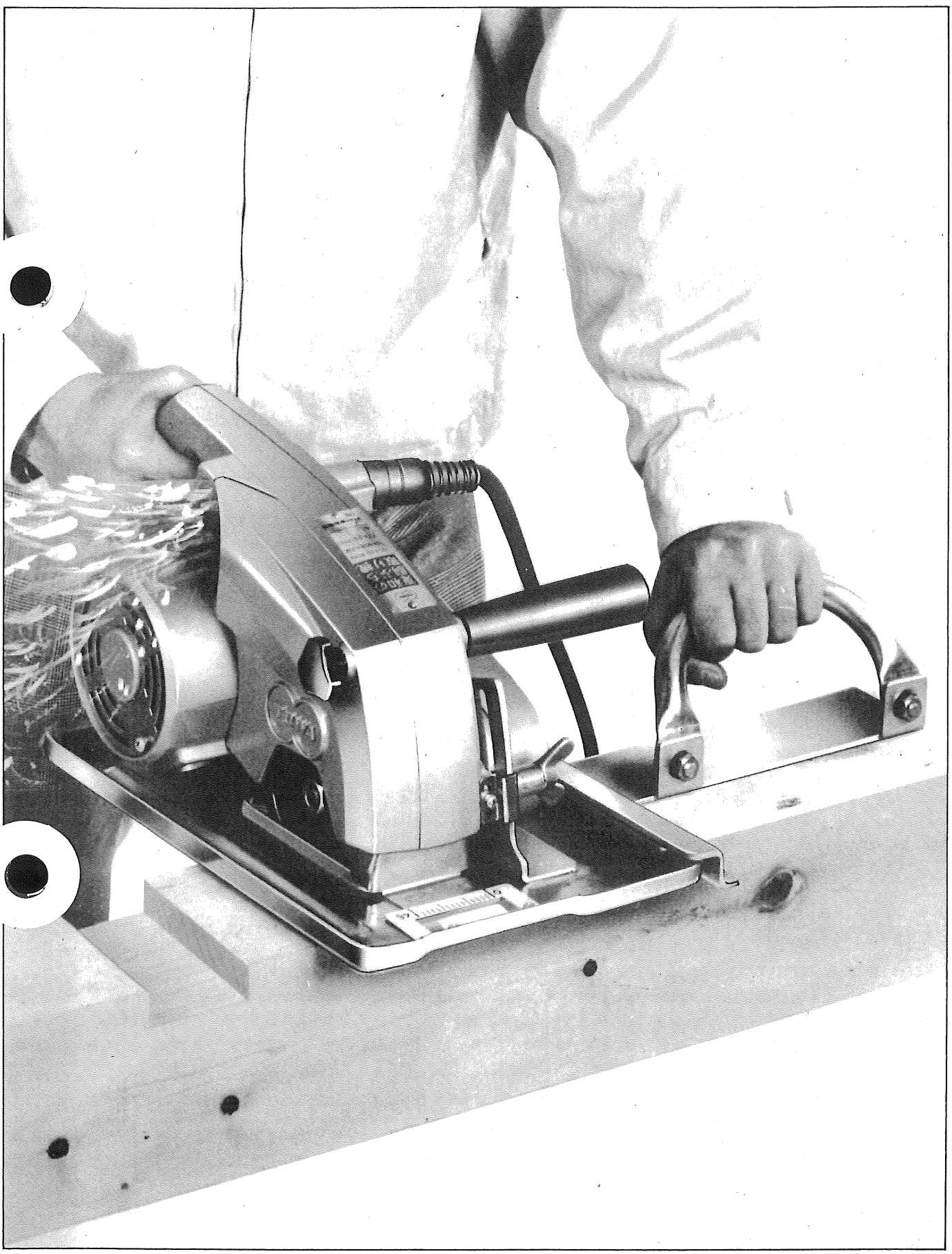
東和ー胴ぶち取り機

取扱い説明《モデルDV-4600》

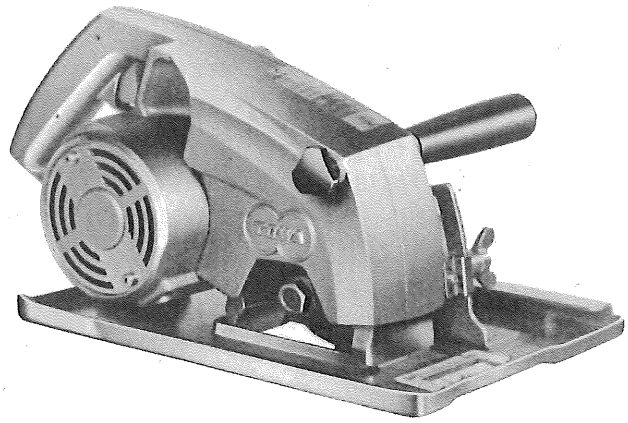


TOWA 株式会社東和電器

この度は　**東和製品**をお買い上げ下さいまして誠にありがとうございます。本機はきっと貴方のお仕事のお役に立つものと確信致しております。ご使用前に必ず本取扱説明書をよくご覧の上、適切な取扱をして能率を上げ末永くご愛用下さいますようお願いします。

● 特　長

- 脱着式コードで本体の持運びに大へん便利です。
- 案内定規を利用して正確な加工が出来ます。
- 最大切込深さ　15mm
- 東和独自に開発した特殊胴ぶちカッターで艶のある三面同時仕上が出来ます。
- モーターは強力12A、雑音防止コンデンサー内蔵で電波障害なし。
- 大きな定盤で安定した作業が出来ます。
- ベルト駆動の採用により衝撃が少なく音が小さい。

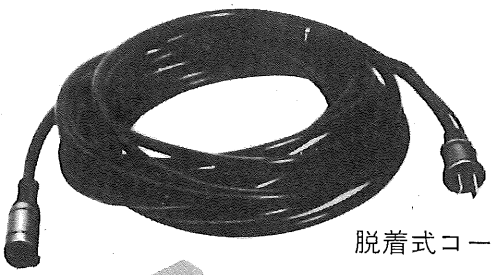


モデルDV-4600

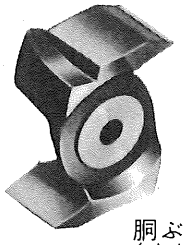
● 仕　様

電　圧	100V
電　流	12A
周波数	50～60Hz
回転数	8,500R.P.M
最大切込深さ	15mm
刃　巾	46mm
重　量	7.3kg

● 通常附属品



脱着式コード



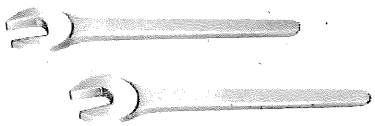
胴ぶちカッター
（本体取付部品）



案内定規



補助ハンドル
（本体取付部品）

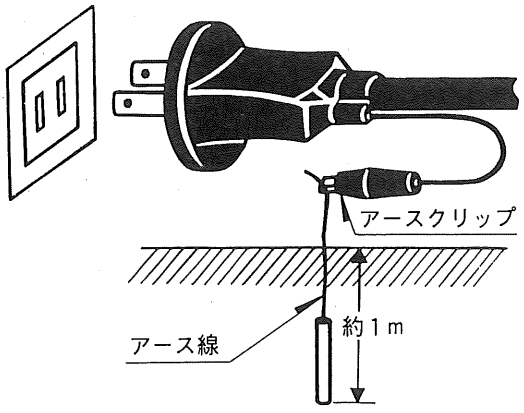


片口スパナ2本(19mm)

● ご使用前に

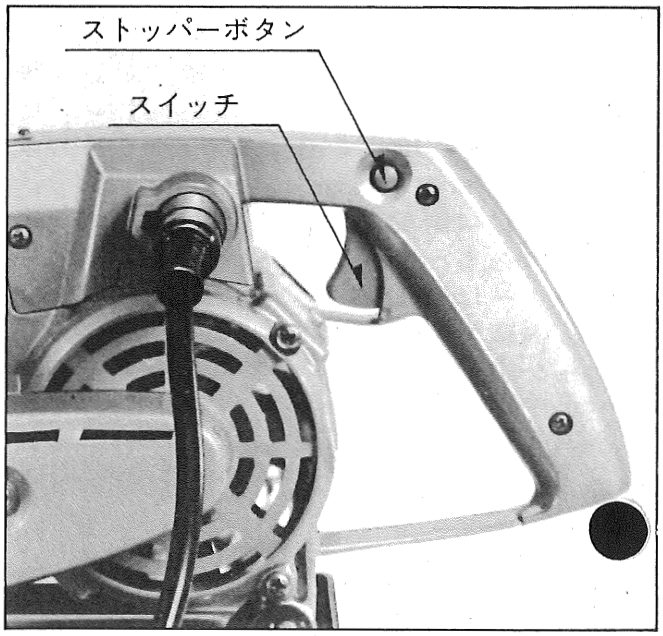
差込みプラグを電源につなぐ前に次の事項に注意して下さい。

- ご使用電源を確かめ、必ず銘板に記載されている電圧でご使用下さい。
- 感電事故を防止するため、ご使用に先だちコード端にあるアースクリップを接地してからプラグを差込んで下さい。
- 胴ぶちカッターは充分に締め付けて出荷して有りますが万一のためお確め下さい。



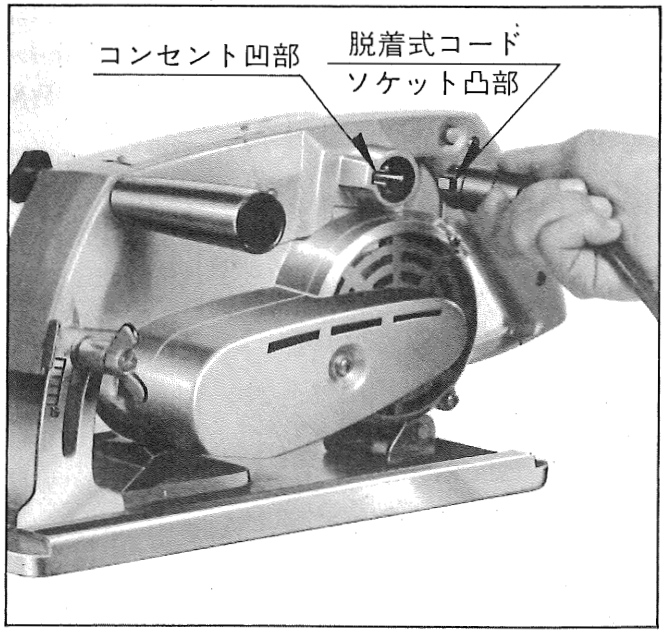
● スイッチ

● スイッチ操作はスイッチを引くと入り離すと切れます。
またスイッチを引いた状態で握り部の側面にあるストッパーボタンを押すとスイッチから指を離してもスイッチは入ったままになります。
この場合、再度スイッチを引くとストッパーボタンがはずれスイッチは切れます。
連続使用の場合はこのストッパーボタンをご利用下さい。



● 脱着式コードの取付け

● 本体の持運びに便利な脱着式コードで取付けはソケット凸部を本体のコンセント凹部に合せてしっかりと差込んで下さい。

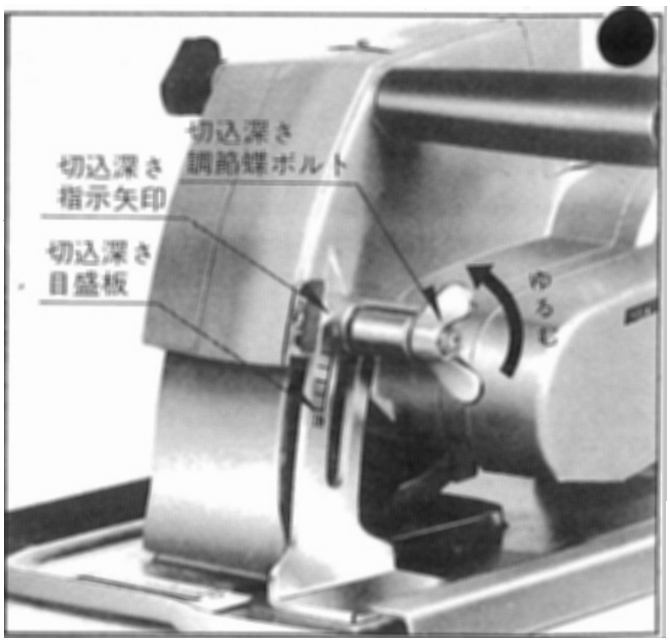


● 切込深さの調節

● 切込深さ目盛板を基準にして使用します。矢印が0位置の時、胴ぶちカッター切込深さは0です。(1目盛3㎜の割合になっております)

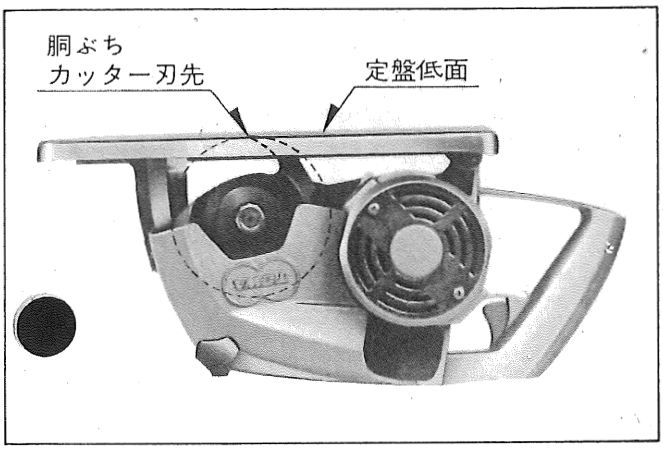
● 切込深さは切込深さ調節蝶ボルトをゆるめ定盤を上下に移動して行います。

● 目盛を合せましたら、切込深さ調節蝶ボルトをしっかりと締め付けて下さい。

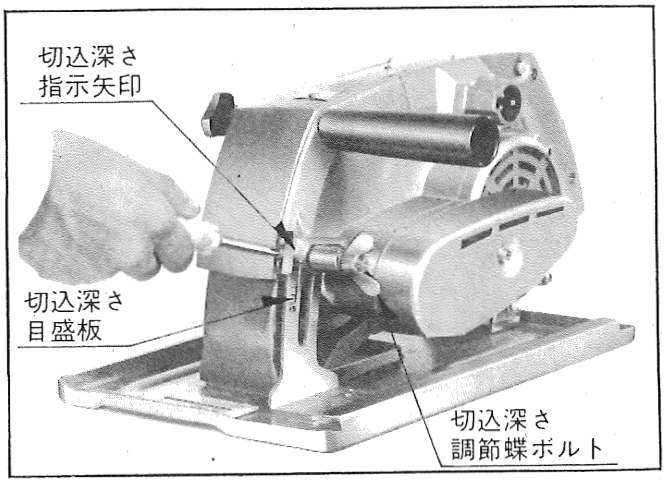


● カッターが摩耗した場合

● 切込深さ調節蝶ボルトをゆるめて胴ぶちカッターを手で回しカッターの刃先が定盤の低面に一致する位置に切込深さ調節蝶ボルトを締め付けて下さい。



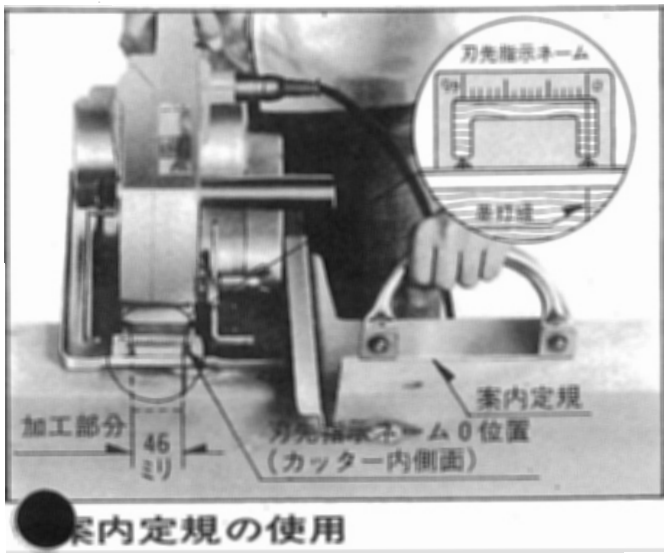
● 次に切込深さ指示矢印を止めているネジをゆるめ切込深さ目盛板0位置に矢印を合せてネジを締め付けて下さい。



● 切込位置

● 胴ぶちカッターの内側に刃先指示ネームの0位置が合せてあります。

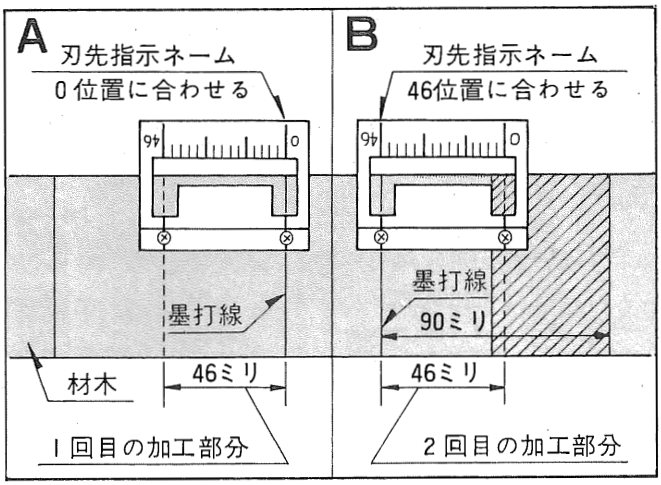
● 墨打線に0位置を添わせれば切削巾46ミリの加工が出来ます。



● 巾広加工(90ミリ巾の加工例)

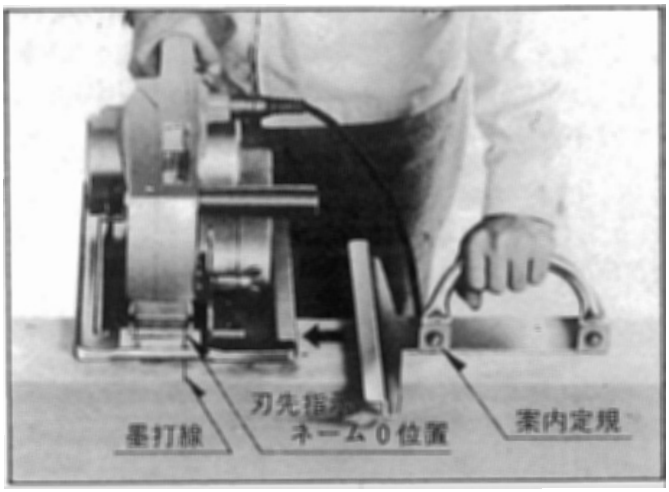
● まずA図の様に刃先指示ネーム0位置に墨打線を合せ加工します。

● 次にB図の様に墨打線に刃先指示ネーム46位置を合せ加工すれば巾広加工が出来ます。

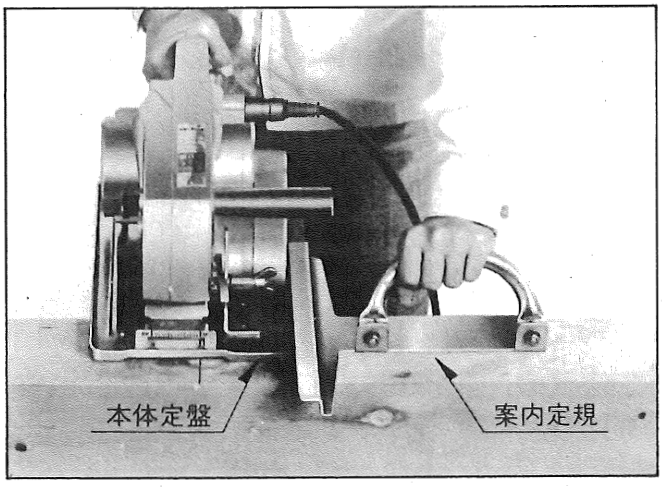


● 案内定規の使用

● 墨打線に刃先指示ネームの目盛0位置を合せます。



● 次に案内定規を本体定盤側面に合せれば真直ぐに加工が出来ます。



● 加工要領

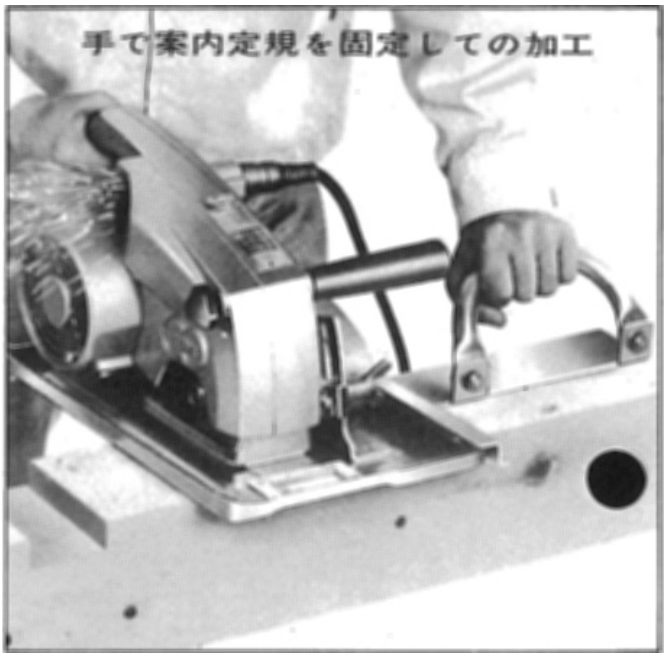
● 各部の調節が出来ましたら、スイッチを切った状態にして差込みプラグを電源に差込んで下さい。

● 本体定盤を木材の上にのせて案内定規をしっかり固定します。
カッターが木材に触れない状態でスイッチを入れ回転が一定になりましたら削り始めて下さい。

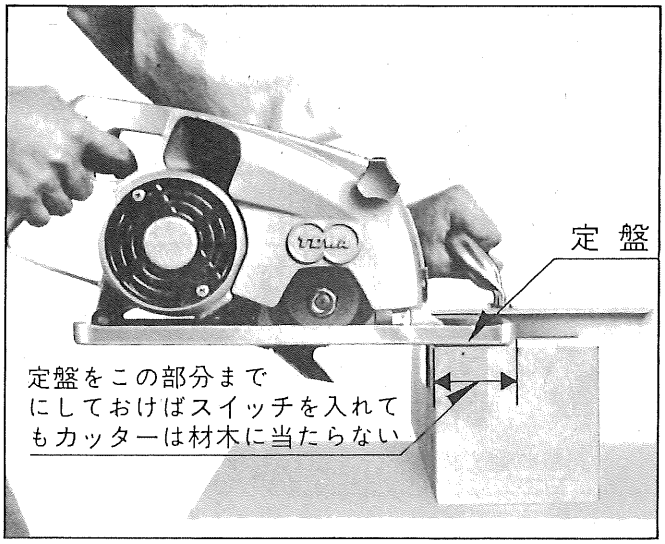
● 案内定規は足でも固定出来ます。

● 送り速さは木材の堅いもの軟らかいものによって異なりますが、いずれの場合も送り速さを一定に保つことが大切です。

● 乾いた木材や木目によって溝の縁が欠けるおそれがある時は、特に速さをおとすか、切込深さを加工予定の半分ぐらいにして2回で削るようにするときれいに仕上がります。

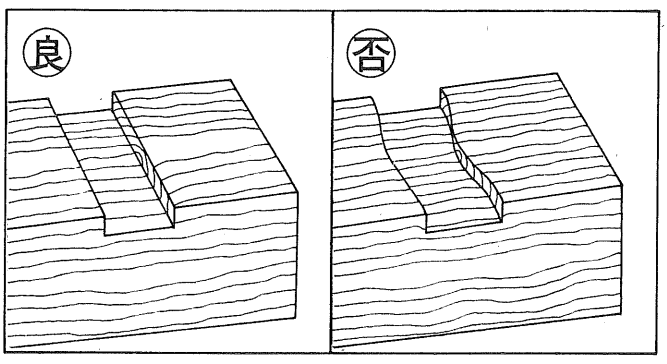


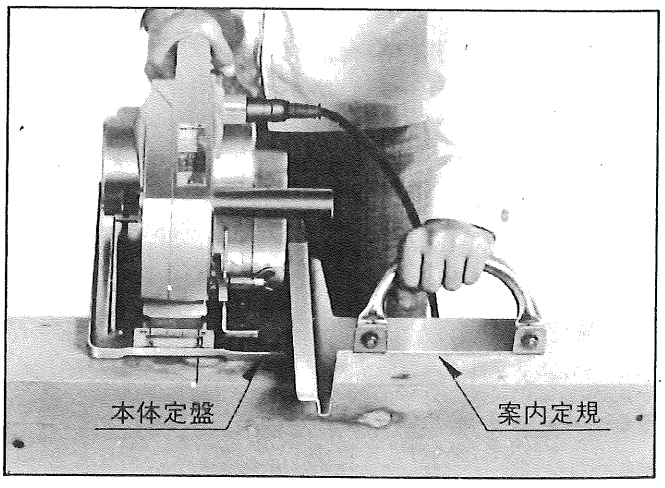




● 真直ぐ溝を切る場合

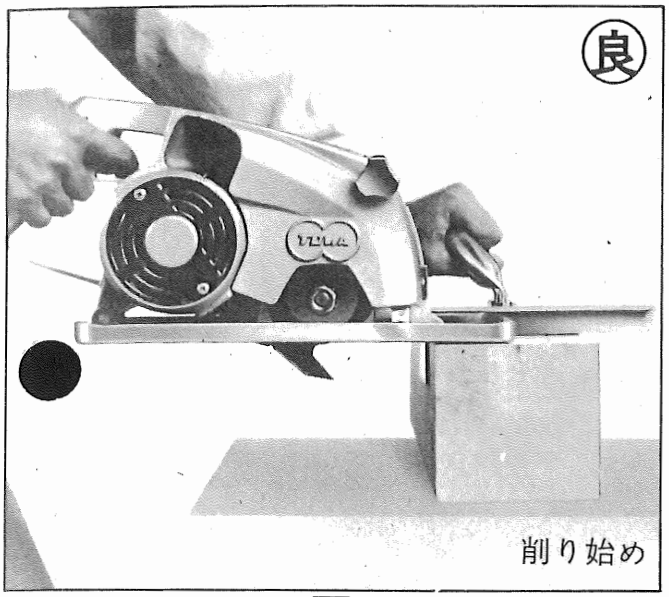
● 案内定規をピッタリと木材にくっつけ本体定盤側面を案内定規に添わせて加工をします。

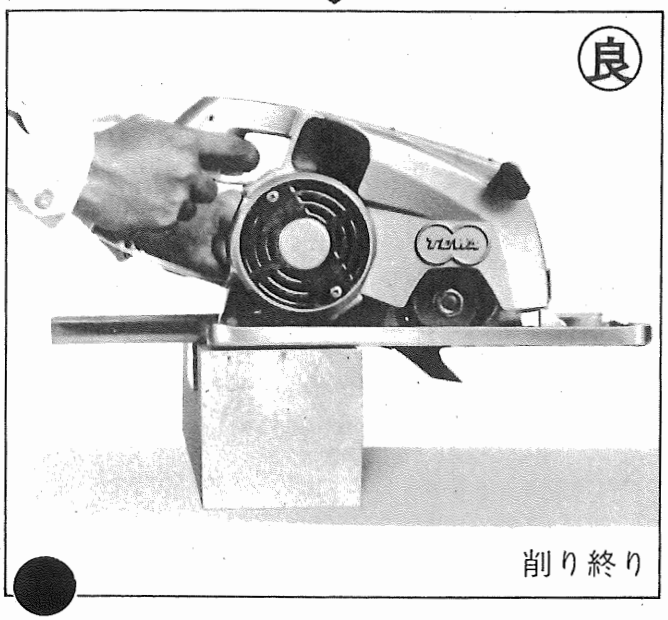




● 正しい使い方

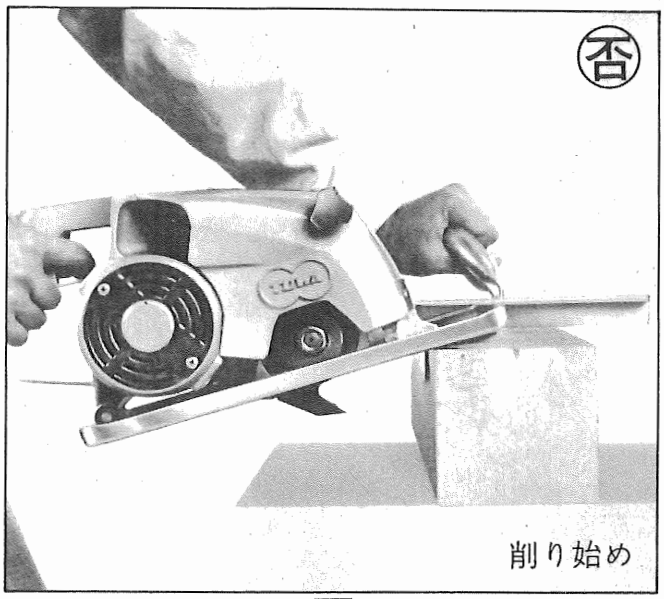
● 本体が木材の上を平に動くように前に進め終りまでそのままの状態を保って下さい。

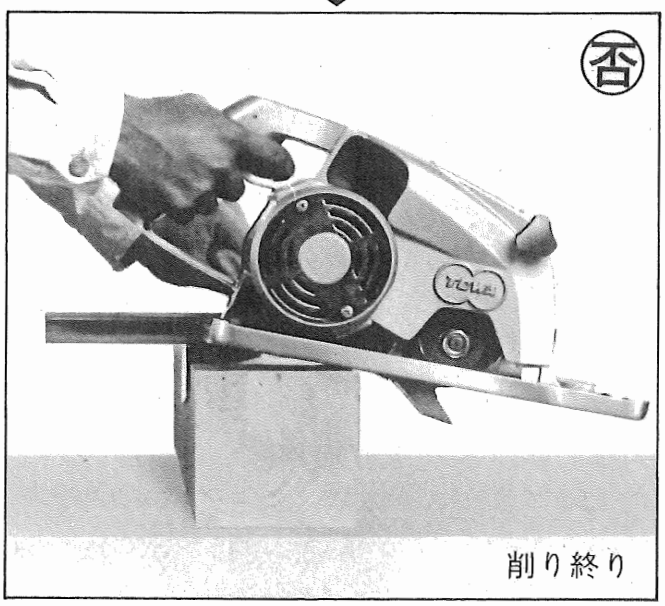




● 悪い使い方

● 削り始めや削り終りに写真の様に本体が傾むきますと木材の端を大きく削に取ります。



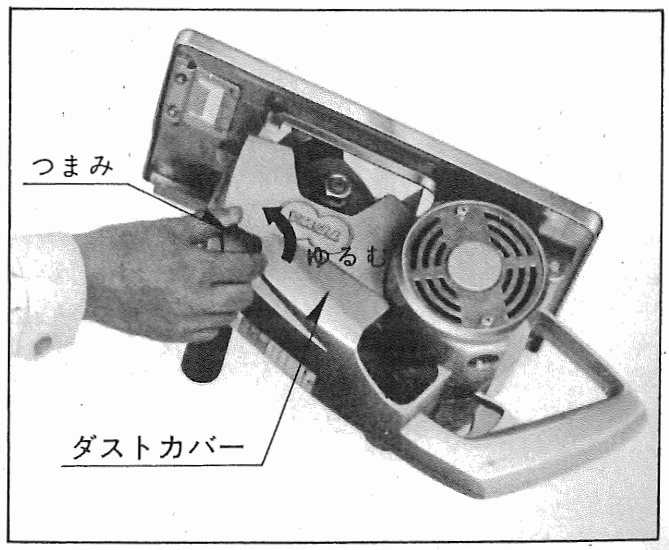


● カッターの脱着

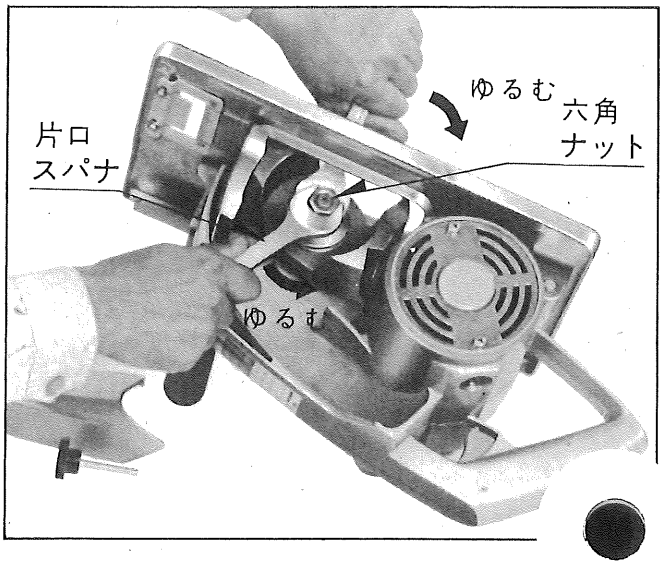
取外し

● カッターの脱着の場合、必ずプラグを電源からはずして下さい。

● つまみをゆるめダストカバーを取外します。

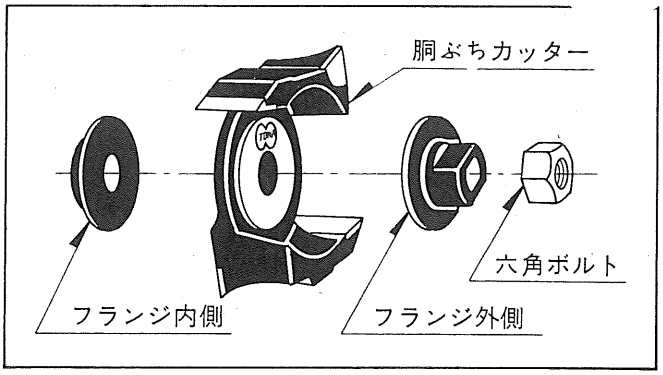


● 附属の片口スパナ（19㎜）２本を使い１本はフランジに合せて固定し、もう１本のスパナを六角ナットに合せて矢印の方向に回して取外します。



取付け

● 取付けは取外しの逆の要領で行って下さい。
取付けの際は丸鋸刃の回転方向を間違えないようにご注意下さい。
（TOWAのマークが表面に見えること。）



● 使用後のご注意

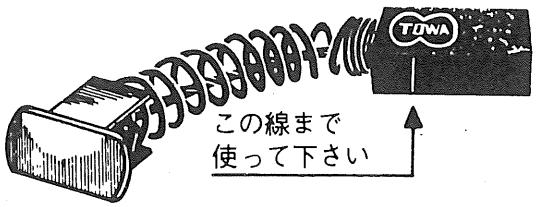
● 特に次の事項に注意して点検手入をなさることが大切です。

● 継ぎコードは心線の長さと太さに限度があり、あまり長くしたり、細かい線を使用すると電圧降下が大きくなりモーターの力が弱くなりますのでできるだけ短くしてください。

● カーボンブラシが全長の1/3以下になりましたら新品と交換して下さい。そのままご使用になりますとモーターの故障の原因となります。新品と交換の際は東和のカーボンブラシをご使用下さい。

● 本体内部にごみやほこりがつきますと、スイッチの動作不良等の原因となります。使用後は必ずきれいに清掃して下さい。

カーボンブラシ



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合にはご遠慮なく全国各地の東和電動工具販売店、東和の営業所にお問い合せ下さい。

※改良のため製品仕様の変わる事があります。

● 部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合にはご遠慮なく全国各地の東和電動工具販売店、東和の営業所にお問い合せ下さい。

株式会社 東和電器
名古屋市千種区春岡通7-49 〒464
ＴＥＬ〈052〉761－５１１１（代）